

【腹腔鏡下大腸癌手術に関する研究】ミーティング議事録

2010年1月14日（木）14:30-16:30

久留米萃香園ホテル 2F 鶴（西）

各プロジェクト報告

1. 「Clinical Stage 0-I 直腸癌に対する腹腔鏡下手術の妥当性に関する第 II 相試験」
 - ・登録された症例のうち Stage III の割合が当初の予想以上に高かったために、目標登録症例数を 350 例から 490 例に増やし、Stage 0-I の症例数を確保することを改めて承認した。
 - ・上記のプロトコル改定に伴う審査については各施設に一任することを承認した。

2. 「Stage IV 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義」
 - ・2009年7月30日に本研究会倫理委員会にて承認された。
 - ・39施設 956例のデータを集積し、解析を開始した。
 - ・2010年6月に解析結果を報告する。

3. 「高齢者における腹腔鏡下大腸切除術の有効性と安全性に関する後向き調査」
 - ・2009年12月9日に本研究会倫理委員会にて承認された。
 - ・2010年1月に各施設に CRF を送付し、その後症例集積を開始する予定である。

4. 横行結腸癌、下行結腸癌の retrospective な検討
 - ・腹腔鏡と開腹の両方を対象とすることを決定した。
 - ・さらに、プロトコルの文言全般を再度見直すこととした。

5. 腹腔鏡下 ISR 症例の retrospective な検討
 - ・プロトコルの再検討を行う予定である。

以上